

2022年6月30日

PFAS分析機関 各位

一般社団法人 日本環境測定分析協会  
極微量物質研究会 研究開発 WG

## 第2回 水質中 PFAS 分析に関する共同実験の実施について

拝啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今回は、水質中 PFAS 分析に関する共同実験実施のご案内をお送りします。

有機フッ素化合物（Per- and Polyfluoroalkyl Substances : PFAS）は、界面活性剤属する化合物であり、1950 年以來、工業用途など広範囲で使用されていて、我々が日常生活や産業活動を営む上で無くてはならないものとなっています。しかし、その化学的特性ゆえに環境中で長期残留性を持つこと、生体影響が報告されていること、様々な環境媒体から検出されたことから、PFAS 等の自主的削減が行われてきました。PFOS は 2009 年 5 月ストックホルム条約（POPs 条約）の規制対象物質となり、2019 年 5 月には PFOA が規制対象物質に追加されています。

国内では、環境省が「2020年5月28日付 環水大水発第2005281号・環水大土発第2005282号」において、PFOS 及び PFOA を新たに要監視項目に追加することとし、その指針値（暫定）として「PFOS 及び PFOA の合算で 0.00005 mg/L 以下」が設定されたこともあり、水質中 PFAS の分析ニーズが高まっています。また、2021 年 2 月 26 日の「中央環境審議会水環境・土壌農薬部会環境基準健康項目専門委員会（第 19 回）」において、PFHxS を「要調査項目」として位置付け、有害性に関する科学的知見の集積を行うとともに、水環境中からの存在状況について引き続き知見の集積を図る必要があるとされました。

PFAS 分析は、LC-MS など高度な測定機器を使用する必要があるなど分析の難易度が高い一方、これまで自らの分析技術を客観的に確認するための機会は、2007 年から 2009 年にかけて実施された本委員会の共同実験のみであり、UTA 研セミナーのアンケート等でクロスチェックの実施について要望が多く集まっています。

そこで、極微量物質研究会では昨年に引き続き、「第 2 回 水質中 PFAS 分析に関する共同実験」を企画いたしました。今回は前回参加者のご要望に応じて配付試料量を増やし、PFHxS も対象項目に含めました。PFAS 分析をされている分析機関の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

敬具

## 記

1. 分析対象物質：PFOS 及び PFOA、それぞれ直鎖及び分岐鎖、PFHxS
2. 分析方法：特に定めないが、以下の方法が公表されている。
  - ・ JIS K 0450-70-10 工業用水・工場排水中のペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸試験方法
  - ・ 『水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について』付表 1 に示す方法
  - ・ 水質管理目標設定項目の検査方法（平成 15 年 10 月 10 日付健水発 1010001 号）厚生労働省医薬・生活衛生局水道課
3. 配付試料：①標準液（メタノールベース：約 1mL を予定）  
②水質-1（環境試料をろ過、希釈したもの：約 500ml を予定）  
③水質-2（環境試料をろ過、希釈したもの：約 500ml を予定）
4. スケジュール：申し込み 2022 年 7 月 4 日（月）から 2022 年 7 月 29 日（金）  
試料配付 2022 年 9 月 5 日（月）を予定  
報告期限 2022 年 11 月 4 日（金）まで
5. 参加費用：(税込価格)

種別	参加費用
極微量物質研究会会員	27,500 円
日本環境測定分析協会会員	66,000 円
一般（会員外）	77,000 円

参加費用は振込みにてお支払いをお願いいたします。

「請求書」は申込後に自動送信される「申込完了のお知らせメール」文中に記載の URL からダウンロード発行となります（紙面の送付はございません）。請求書に記載の銀行口座にお振込みください。なお、お振込みは試料到着後 2 週間程度を目途にお願いいたします（申込の際に振込予定日をご記入いただきます）。また、振込手数料は参加機関様でご負担いただきますようお願いいたします。

※極微量物質研究会に入会申請中の日本環境測定分析協会会員機関が本共同実験に参加申込を行う場合、極微量物質研究会会員の参加費で参加できます。

6. 申込方法：日環協ホームページの UTA 研新着揭示の下記 URL より、受付システム (Web) にてお申し込みください。  
「第 2 回水質中 PFAS 分析に関する共同実験」ご案内のページ  
<https://www.jemca.or.jp/2022/06/25151/>  
申込完了後に「申込完了のお知らせ」メールが自動送信されます  
(自動送信メールが不着の際は、まずは迷惑メールフォルダへの振り分けをご確認いただき、なおご不明の場合、事務局にご連絡願います)。
7. 結果報告：結果報告用様式 (Excel ファイル) に分析結果を入力して報告願います。  
様式は、上記のご案内ページに、試料配付時期を目途に掲示いたします。  
なお、2022 年度第 2 回極微量物質研究会セミナー (2023 年 2 月 7 日 (火) 開催予定)、ならびに第 31 回環境化学討論会 (2023 年 6 月 徳島県にて開催予定) において解析結果を報告する予定です。報告は分析結果と参加機関の関連付けが特定されない統計値の形で行います。参加機関名が一覧の形式で公表されること、解析結果の公表が行われることを予めご了承の上、参加申込みいただきますようお願いいたします。
8. 連絡先：一般社団法人 日本環境測定分析協会 極微量物質研究会 担当(高井・長濱)  
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 JEMCA ビル  
TEL : 03-3878-2811 FAX : 03-3878-2639  
E-mail : [gokubiken76@jemca.or.jp](mailto:gokubiken76@jemca.or.jp)